

りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル
東日本大震災 飼い主さん支援活動



「ずっと一緒に居ようよ」 プロジェクト

キミがいるから



生きていける…

※「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル」は、21世紀復興記念事業としてスタートし、継続されている事業です。

2011年3月11日に東北地方で発生した未曾有の大災害・東日本大震災。

16年前のあの日、私達が住む神戸も同様の経験をしています。そんな私達だからこそ、「出来ることがあるんとちがう？」とフェスティバル関係者から声が上がったのは、ペットと同行避難した方々への想いでした。「離したら、いかんよね」。

私達があの震災で学んだのは、『キミが居たから頑張れた。キミが居るから生きていける』という関係が、ペットと人の間にも成立するということでした。ペットはそれぞれの日常でもあり、飼い主さんが、力強く生きていく力を生み出します。同じ経験をくぐり抜けて来た神戸から、この想いを届け、頑張る飼い主さん達を物心両面から支えていければとの願いから、プロジェクトを立ち上げました。被災された方々に残された日常を、私達は、護る努力をしていかなばなりません。皆さんが出来ることを集めて、プロジェクトにしていきたいと思っています。まずは、募金と賛同の気持ちを集める活動を始めます。

募金は、一番大切な住まい確保の為、「仮設住宅建設とペット可住宅入居の際の支援」に目的を絞って行います。

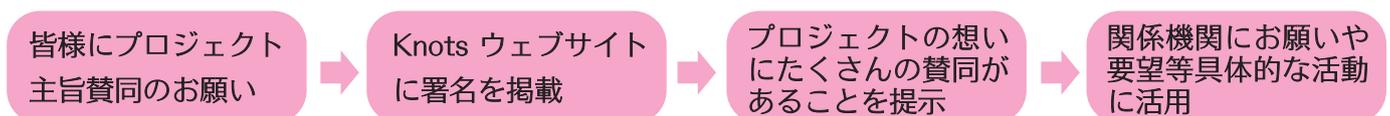
そして、皆さんのご賛同の気持ちを沢山集められたらと思います。以下の図のように活用させていただきます。「一緒に居て欲しい」と願っている人達が、沢山居ることを伝えることで、様々な方面でご協力頂ける可能性が増えるはずです。ご協力をお願いします。

プロジェクト詳細に付きましては、ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.knots.or.jp/>

《皆様から頂いた署名活用の流れ》

※ 活用の流れは、被災者の方々が必要とされる状況に応じて変化する場合があります。



■ 発起人：りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル開催関係者

公益社団法人 Knots / 六甲山カンツリーハウス / 日本フリスビードッグ協会兵庫支部 / 有限会社ペゼルス代表取締役岩堀覚 / ギグレース協会 / 株式会社セレスポ / フランス地方料理 MOMOKA / 株式会社サン・クロレラ 国内営業部 / アール・グラウンドらくいぬ生活 / VIGORE / スパイス☆キッチン SANSARA / Dogs Life / 犬の唄・徳田建 / 有限会社ドッグ・ツリー社 / d-ma&co / NPO 法人おーけすとら・ぴっと 就労継続支援 (B 型) 事業所 Patch / ~地球の Link ~生きづらさを抱えた子どもたちとその家族、そしてみんなの情緒 (心) の成長発達を考える会 / 日本障害者乗馬協会 / ファクトリートリム / デジタル・サン・ギャラリー / こずみつく わんにゃんくらぶ / 阪神警察犬訓練所 /  ネスレピュリナ ペットケア

■ ご賛同 (2011年5月18日現在 / 敬称略) :

福地茂雄 (アサヒビール相談役) / 奥野敦史 (毎日新聞社) / 柴内裕子 (公益社団法人 日本動物病院福祉協会 顧問 / 赤坂動物病院 院長) / 社会福祉法人 日本介助犬協会 / 社会福祉法人 日本聴導犬協会 / キルトカフェ 足立知子 / 株式会社セラヴィリゾート泉郷 / 有限会社 TINO / 社団法人 兵庫獣医師会 / 益田晴夫 (NPO 法人 犬の総合教育社会化推進機構 (OPDES)) / Lab & Peace / 日本フリスビードッグ協会 / Mt.Castle
Special thanks to Satoshi Ogura

■ 目 的：東日本大震災で被災した飼い主さん支援

ペットと同行避難されている方々のペット同伴ゆえの困難を鑑み、ペットを伴ったの復興・自立に向け、物心両面での支援を行う。

りぶ・らぶ・あにまるずプロジェクト 東日本大震災 被災飼い主さん支援

私は「ずっと一緒に居ようよ」プロジェクトの考えに賛同します。

| ふりがな 氏名 | 電話番号 または メールアドレス | メッセージ |
|------------|---------------------|-------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※ 賛同者のお名前をウェブページにて紹介させていただきます。

《お問い合わせ／署名送付先》

公益社団法人 Knots 事務局 担当：白川／黒田

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通 6-6-7-405

TEL. & FAX: 078-599-6663 (受付時間：月～金 13:00～17:00)

E-Mail: info@knots.or.jp

発起に至る背景

りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバルは、阪神・淡路大震災を機に活動を開始したメンバーにより設立された NPO 法人 Knots (現公益社団法人 Knots) 主催で、神戸 21 世紀復興記念事業としてスタートし、継続されている事業です。年に 1 回、ドッグスポーツの大会を中心に、身体障害者補助犬、譲渡支援等の様々な活動紹介や、犬に関連する商品の販売など「犬」に関わる方々が一堂に会し、仲間が集まる楽しい 1 日となっています。

参加される方々のうちの多くは、阪神・淡路大震災での被災経験を持つ、あるいは被災経験を持つ方が身近におられます。『あの時』の経験、『あの時』と一緒に乗り越えてくれた犬達とこのような時間を過ごすことが出来る幸せを感じ、また伝えたくて、始まった催しです。

阪神・淡路大震災のこの経験を通じ、人と動物の絆の強さと、その絆が持つ影響力の大きさを知りました。今回の東北地方の震災で、ペットと一緒に避難した方々のこれからを思う時、『彼等を、決して、離れ離れにはしてはいけない』との想いが生まれました。今、ここ神戸から、ペットと一緒に避難した方々に、「想いを分かち合える仲間がここに居る。『一緒に居られるためにできる努力』を始めている。」というメッセージを届けたいと思っています。

何故、人とペットは離れてはいけないのか…？

ペットは、誤解を恐れずに言えば、「日常」の象徴です。地震や津波で、家や仕事を失った方々が、一緒に持って来ることのできた『最後の日常』でもあるのです。若し、ペットと人を引き離してしまったら、もう一度、『日常』を失う喪失体験を余儀なくされます。更に、「こんな時だからペットのことなんて言えない」と、我慢をされてしまわれる筈です。結果として、被災者の方の見えない苦しみは、2 倍、3 倍になってしまいます。特に環境の変化に弱いとされる高齢者の方々への影響は、大きく懸念されます。被災された皆さんに残された数少ない「日常」が、大きく損なわれるからです。

また、ペットの存在は、人が生きていく力となります。自分の世話を必要とするペットの存在が、自立を支えることにつながります。

阪神・淡路大震災でも、ペットの居場所について、最初は議論がありました。しかし、最終的には、仮設住宅はペット可となり、ペット可の公営住宅の建設、日本初の兵庫県動物愛護センターの設立へと繋がりました。(現在の緊急災害時動物救援本部の活動も、阪神・淡路大震災の際に、組織的に行われた日本初の動物救援活動が、その礎となっています。)

この活動は、直接的にペットを保護することを目的とはしていません。ペットを護る役割を負う飼い主さんを支えるものです。私達は、このような時でも小さな命を守ろうとする、ひとりひとりを支えたいのです。